



学校だより

並四小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namiki4>

あいさつ運動「あいさつで 心豊かな 一日を」

2 月 号
令和3年2月1日

並木第四小学校
校長 清水 康男

子どもの自信や意欲を引き出す評価を

副校長 小林 秀樹

冷たい北風にも負けず、校庭で元気に遊ぶ子どもたちから、たくさんの元気ももらっています。早いもので、新年を迎えてからひと月が経ちました。まだまだ寒い毎日ですが、今日3日は立春。もう春です。

先日、自分の子どもたちが通っているサッカー教室の練習を見に行っていた時のことです。コートでは攻撃側と守備側に分かれて1対1をする練習メニューが行われていました。攻撃側はドリブルで相手を抜いてゴールできれば勝ち、守備側は相手からボールを奪うことができれば勝ちというルールで、子どもたちは夢中になって取り組んでいました。指導者の方は子どもたちの一つひとつのプレーに対して、「うわー、すごいフェイント。」「うまい、天才!」「ナイスチャレンジだよ。」「よく止めたね、かっこいい。」等、励ましや称賛の言葉を掛け続けていました。指導者からの言葉を聞いて、子どもたちも自然と笑顔になり、やる気がどんどん湧いてきて、何度も何度もチャレンジを繰り返していくのです。子どもたちのプラス面をとらえた評価の言葉かけが、子どもたちの意欲やよいプレーをどんどん引き出していました。

ところで人は生まれてから死ぬまでの間に、他人からの評価をどれだけ多く受けているのでしょうか。その時々で評価の内容や観点は違っていても、何千回、何万回、いや数え切れないほどの評価を受けています。立場を代えれば、自分も他人に対して同じくらいの評価をしながら、生きていけると言えます。

そして、それは子どもたちも例外ではありません。その子の過去と比較されるだけではなく、きょうだいや友達、同年齢の子どもたちなどと比べられたり、評価されたりして毎日を過ごしているのが現実です。その中で子どもへの評価は、ともすると、子どもの自信や誇り、意欲を失わせることにつながりかねません。子どもの頑張りや努力に目を向けず、常に他人と比べて、マイナスの評価をしていることなどはその例です。子どもたちは成長の過程で素晴らしい輝きを発します。その姿は感動的です。しかし、一方で多くの失敗もします。また、成長の速さや度合いには個人差があることも当然です。そこで、他人と比較して評価したり、ただ闇雲に失敗の現象だけをとりえて叱ったりするのではなく、何がしたかったのか、なぜうまくいかなかったのか、次はどうすればうまくいくと思うかなどを問いかけたり、その子のこれまでと今とを比べ、ほんの少しでも進歩や成長があれば、それを認め、一緒に喜び合ったりすることが、子どもが自信や意欲をもつことにつながるのではないのでしょうか。そして、それは何よりも子どもたちが確かな成長をしていく上でとても大切なことだと考えます。

今年度も残すところ、あと2カ月となりました。6年生は卒業に向けて、1年生から5年生までは次の学年に向けての大切な準備期間となります。子どもたちが次のステージへ駆け上がるためのステップとなるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご支援を賜りながら、子どもたち一人ひとりの成長をしっかりと見取り、教育活動に取り組んでまいりたいと思います。



《2月 行事予定》

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
1	月	TV朝会	15	月	委員会活動
2	火		16	火	
3	水		17	水	
4	木		18	木	
5	金		19	金	クラブ活動
6	土		20	土	地域防災拠点運営委員会
7	日		21	日	
8	月	TV朝会	22	月	TV朝会
9	火		23	火	天皇誕生日
10	水		24	水	
11	木	建国記念の日	25	木	
12	金		26	金	感謝の会(6年)
13	土		27	土	
14	日		28	日	

※今後の情勢の動向により、2月行事予定が変更することがあります。ご了承ください。

各学年の校外学習について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されている状況を考え、4年生の子ども宇宙科学館プログラミング体験学習については、当面の間、延期といたします。別日での実施を行う場合や中止が決定した場合には、改めて学年よりお知らせいたします。

また、6年生の東京見学については中止といたします。今後の感染状況等により、行き先を変更しての校外学習を実施する場合には、決まり次第、学年からお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

《お知らせ》

2月1日より、渡辺史明主幹教諭が復職いたします。

なお、特別支援教育担当に関しましては、柴田まり子教諭、並びに2月から菊地紀子教諭も着任し、担当します。

○令和2年度就学援助申請締め切りについて

年度当初にお配りしたお知らせにも記載してありますが、今年度の就学援助申請は2月末日までとなっております。令和2年中に雇用状況や世帯所得が大きく変化し、児童の通学に際し経済的に困りの場合には、年度当初にさかのぼり援助を受給できる可能性があります。申請を希望されるご家庭は配布済のお知らせを参照のうえ、申請書をご提出ください。書類の紛失等や不明な点がありましたら、担当学校事務職員までご相談ください。なお、現在就学援助を受給中のご家庭につきましては、特に追加の手続きは必要ありません。